

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【向小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域において、主に敬語、主語・述語などの正答率が低い。</p> <p><指導上の課題> 児童が反復・習熟に取り組む時間の設定が不十分である。</p>	<p>⇒</p> <p>朝の学級の時間を限定的に「朝学習」に変え、「ドリルパーク」を活用して敬語、主語・述語などの反復・習熟に取り組む言語力を育む【学校独自でまとめた「ミライシード」「ドリルパーク」使用率を50%以上】。</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」の領域において学年によって課題がある。</p> <p><指導上の課題> 授業において子ども主体となる学びに差がある。</p>	<p>⇒</p> <p>協働的な学習活動を多く取り入れた授業を実践する【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができますか」(5, 6年)の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】。</p>

全国学力・学習状況調査
<小6・中3> (4月～5月)

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語の主語と述語との関係を捉えることができた児童が多かった。	
思考・判断・表現	国語の自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題で解答類型を見てみると、目的に応じて事実と感想、意見とを区別して書けていない児童が多かった。算数の道のりと時間の関係を考察する問題では、速さが一定であることを基に問題場面を整理して考察できていない児童が多かった。	

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	A	6月の3日間を「朝のドリルパークタイム」として設定し、敬語、主語・述語などの反復・習熟に取り組んだ。学校独自でまとめた「ミライシード」の「ドリルパーク」使用率は、43%だった。授業の中でも活用できるよう、実践を共有し広めていく。	変更なし
思考・判断・表現	A	R6年度全国学力・学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができますか」(6年)の質問項目において、肯定的な回答の割合が96.5%だった。学校課題研修を通して、国語や学級活動で対話力や言語力を育む授業を実践している。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)